

脈管学 利益相反開示書

著者名： _____

論文タイトル： _____

申請日： _____

■ 日本脈管学会発行「脈管学」に論文を投稿する場合は、共著者全員が当該論文で扱われている対象・材料・試料に関連して、バイオ企業、製薬会社、その他営利企業との金銭的関係を開示しなくてはならない。開示にあたっては、脈管学会の利益相反指針を参照のこと。(http://j-ca.org/wp/about_jca/coi/)

■ 開示の方法は、① 利益相開示書の提出、② 論文本文への記載、の2点によって行う。

① すべての共著者は、各々開示書に共著者本人、配偶者、近親の利益相反状況を記入し、連絡著者に提出する。投稿の際は、連絡著者は共著者全員の開示書を集約して、オンライン投稿・査読システムにアップロードして提出する。

	金額	該当の状況	該当の有る場合、企業名等
役員・顧問職	100 万円以上	有 ・ 無	
株	利益 100 万円以上 株式の 5%以上	有 ・ 無	
特許使用料	100 万円以上	有 ・ 無	
講演料など	50 万円以上	有 ・ 無	
原稿料など	50 万円以上	有 ・ 無	
研究費	100 万円以上	有 ・ 無	
奨学(奨励)寄付などの総額	100 万円以上	有 ・ 無	
企業などが提供する寄付講座	—	有 ・ 無	
旅費・贈答品などの受領	5 万円以上	有 ・ 無	

② 論文本文への記載例（文献リストの前に記載のこと）

利益相反開示報告

A（著者）は Z 社（企業）の顧問である。； B の配偶者は Y 社の取締役である。； C は X 社から研究費を受けた。； D は V 社から講演料を受けた。； E は U 社の特許を有している。； F は T 社から会議参加の費用提供を受けた。； G は S 社から販促資料執筆に対して謝礼を受けた。； H は利益相反はない。； 共著者全員が利益相反はない。